

東京工芸大学 吉野弘章学長が 「2024年度 日本写真学会 東陽賞」を受賞 —写真作品の価値の向上および写真文化の普及への功績により—

東京工芸大学（所在地：東京都中野区、以下、本学）吉野弘章学長は、この度、日本における写真作品の価値の向上および写真文化の普及に大きく貢献したことが評価され、一般社団法人日本写真学会において「2024年度 日本写真学会 東陽賞（以下、本賞）」を受賞しました。



東京工芸大学長 吉野 弘章

本賞は、日本写真学会が写真技術の応用、普及あるいは写真教育などに関して顕著な貢献をした会員に対して表彰するものです。

本学は、1923年に日本初の写真専門の高等教育機関である小西寫真専門学校を前身として創立し2023年に創立100周年を迎えました。創立以来、本学は多くの人材を輩出し日本の写真界に貢献してきました。

本学の卒業生でもある吉野弘章学長は、写真文化の普及と向上に関する顕著な貢献が認められ、この度本賞を受賞しました。5月17日（金）には、千葉大学けやき会館で表彰式が行われる予定です。

【受賞理由】

吉野学長は、写真展のプロデュースや作家のマネージメントを通じて、美術品としての写真とその市場について研究し、京都造形芸術大学（現：京都藝術大学、2004年4月-2009年3月）、東京工芸大学（2009年4月-）で教鞭を執りながら「写真作品制作」「現代美術市場における写真作品の価値と市場原理」「写真展示における空間演出」「写真編集」などについての研究に一貫して取り組んできました。

特に東京工芸大学の公開施設である「写大ギャラリー」においては、ディレクター（運営委員長、2013年4月-2020年3月）として写真作品のコレクションや写真展のプロデュースを行い、2021年4月に出版された『森山大道写真集成©1960-1982 東京工芸大学写大ギャラリーアーカイヴ』（月曜社）の企画・編集に携わるなど、同ギャラリーにおける写真文化の普及を推進しました。

2023年11月には、東京都写真美術館において「東京工芸大学 創立100周年記念展 写真から100年」を企画・プロデュースし、日本における写真教育の歴史を辿りながら、東京工芸大学の現在の取り組みなどを発信しました。

吉野学長は写真作品の価値の向上と写真文化の普及に関して、作品制作、美術市場での価値、作品展示や編集について、深くかつ網羅的に研究に取り組み、新しい潮流をもたらした第一人者と言えます。

写真業界においては、日本写真協会副会長、日本広告写真家協会相談役、日本写真家協会日本写真保存センター諮問委員などの要職を歴任する一方、日本写真学会においては評議員を務め、同学会主催の「写真好き」のための定例講演会でのギャラリートーク、写真好きのための講演、ワークショップ・ファインアートプリント体験講座など、数多くの講演を行っています。

■吉野弘章(よしの ひろあき)

1965年 東京都生まれ

◆学 歴

1985年 3月 東京工芸大学短期大学部写真技術科卒業

2002年 3月 東京工芸大学大学院芸術学研究科メディアアート専攻博士前期課程修了 修士(芸術学)

◆職 歴

1980年代より、写真を主とした展覧会の企画、作家マネージメント、作品のディーリングなどに携わる。

2003年 6月 美術品としての写真についての研究で日本写真協会賞新人賞、日本写真芸術学会賞を受賞

2004年 4月 京都造形芸術大学(現:京都芸術大学)芸術学部情報デザイン学科に専任講師として着任

2005年 4月 同 情報デザイン学科助教

2007年 4月 同 情報デザイン学科准教授 写真／映像メディアコース主任に就任(2009年3月まで)

2009年 4月 東京工芸大学芸術学部写真学科に准教授として着任

2011年 4月 同 写真学科教授

2012年 4月 同 写真学科主任に就任(2015年3月まで)

2014年 4月 学校法人東京工芸大学評議員に就任

2015年 4月 東京工芸大学 芸術学部長に就任(2020年3月まで)

2015年 4月 学校法人東京工芸大学 理事・評議員に就任(現在に至る)

2020年 4月 東京工芸大学 学長に就任(現在に至る)

◆所属学会

日本写真学会(評議員)

日本写真芸術学会(理事)

■日本写真学会 東陽賞

日本写真学会東陽賞は、日本における感光材料工業勃興に寄与した一人で、オリエンタル写真工業を創立した菊地東陽翁の名を冠にした賞となり、写真技術の応用、普及あるいは写真教育などに関して顕著な貢献をした会員に贈る。日本写真学会 学会賞選考委員会にて受賞者を決定し、毎年1件以内とする。

■日本写真学会

一般社団法人日本写真学会(英文名:The Society of Photography and Imaging of Japan)は、写真及び画像に関する学理並びにその応用の研究開発についての発表及び連絡、知識の交換、情報の提供等の場となることにより、写真及び画像に関する進歩普及を図り、もって学術、文化並びに産業の発展に寄与することを目的として設立されている学会です。

【URL】<https://www.spij.jp/>